

Asia Leadership Fellow Program

2015 PROGRAM REPORT

Seeking Our Commons in Asia: How Can We Create Visions for the Future?

International House of Japan
Japan Foundation

Seeking Our Commons in Asia: How Can We Create Visions for the Future?

Published by

International House of Japan and Japan Foundation

Copyright © 2016

International House of Japan

5-11-16 Roppongi, Minato-ku,

Tokyo 106-0032, Japan

Telephone: +81-3-3470-3211

Fax: +81-3-3470-3170

Email: alfp_info@i-house.or.jp

URL: alfpnetwork.net/en/

Contents

ALFP 2015 Fellows (フェロー・プロフィール) -----	4
ALFP 2015 Schedule (スケジュール) -----	7
ALFP 2015 Program Overview (プログラム概要) -----	9

アルラナンサム・サルベスワラン (スリランカ)

コロンボ大学法学部 上級講師



コロンボ大学およびコスタリカの国連平和大学で修士号を取得。スリランカ人権委員会の法検証プロジェクトで上級顧問を務める。コロンボ大学では労働法、環境法のほか、軍関係者が学生の大半を占める紛争と平和学研究のプログラムでコーディネーターおよび上級講師を務める。人権、環境権、労働者の権利、平和構築に関する豊富な知識を有し、国際自然保護連合、国家平和協議会においてもリソース・パーソンとして活躍。環境保護、人権保護、和解と平和構築の観点から、少数派であるタミル族やイスラム教徒が多いジャフナほか、北東部のさまざまな地域でプログラムを実施している。スリランカ国内の新聞やテレビ番組などメディア出演多数。

ジャイディーブ・ハルディカール (インド)

テレグラフ紙 特派員 / インド農村部の人々のためのアーカイブ (PARI) コア・グループメンバー



コルカタを本拠とするテレグラフ紙で幅広い分野を取材し、10年以上にわたって住民の大規模立ち退き問題、水市場の危機、中央インドにおける武力紛争、国際的な農業補助金、市場の脆弱性などを報じてきた。氏は事象ではなくプロセスを重視し、世界で最も複雑な地域であるインド農村部に焦点をあて、その対立と危機、コミュニティによる解決、自治モデル、そして変化や希望が感じられる話をレポートしている。開発とそれによって生じる貧困について書いた初著 *A Village Awaits Doomsday* (2013年) に見られるように、インド僻地における開発過程の諸問題に関心が高く、インド農村部の人々の暮らしを記録しオンライン・ジャーナルで発信する団体「People's Archive of Rural India (PARI)」のコア・グループメンバーも務める。ナグプール大学で国際報道について教鞭を執るほか、同地における映画協会名誉代表を務めるなど活動は多岐にわたる。

サラナラット・カンジャンヴァニット (タイ)

グリーン・ワールド財団 会長



バンコクの非営利環境 NGO であるグリーン・ワールド財団会長。環境活動家・ライターとして、人と自然との間に意義深い関係性を構築することに情熱を注ぐ。子どもや地域住民が生物多様性を理解することを通して地域の環境を「読み解き」、その知識に基づいて創造的な行動を起こすための「環境探偵」教育プログラムを創始する。河川から海まで、自然の生息地から都市までと幅広い分野で仕事を手掛け、最近では人間とその他の生き物が共生できる都市づくりの促進や、自転車移動に適したバンコクの街づくりに取り組んでいる。自然に学び、新しい技術を生み出すバイオミミクリや生物間コミュニケーションにも関心が高い。

カレン・ライ・ユ・リー (マレーシア)

ペナン女性開発公社 プログラム・マネージャー



2011年に、州政府機関として初めてジェンダーの平等性と社会正義の促進を目的として創設されたペナン女性開発公社で、プログラム・マネージャーを務める。現職に就くまでは法律家として、マレーシアにおける性犯罪、女性や政治犯らの人権問題などに多数携わった。国際女性の権利監視協会アジア太平洋支部のリソース・パーソンとして、国連の女性差別撤廃条約の内容と適用に関する講師も務める。ジャズ・ボーカリストとしても活動しており、さまざまなイベントで歌声を披露している。

野村 舞衣 (日本)

在ハンガリー中欧大学経営大学院 グローバル戦略連携マネージャー



アジア財団 (現アジア・ファンデーション)、ボストン日本協会、エドウィン・O・ライシャワー日本研究所及び米国金融機関で機関投資家向け投資信託業務に携わった後、ソニー株式会社、エリクソン社でミレニアム開発目標 (MDGs) に即した案件形成、渉外、コミュニケーション業務を通じ、国際援助、国内外行政機関、市民社会との協働に携わる。ISL (Institute for Strategic Leadership) の社会起業家育成プログラム参画を機に、江戸しぐさ「三脱の教え」を根底とするソーシャル・サロン「Knot Work Café」を設立・運営。また、インパクト・ジャパンにて東日本大震災復興にかかわる起業家を養成・支援するための事業を展開している。現在、ハンガリーの中欧大学経営大学院にて戦略的連携事業に携わる傍ら、日本大学大学院総合社会情報研究科にて講師、慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント科にて研究員も務める。

ディナ・ロマ (フィリピン)

詩人 / デ・ラ・サール大学マニラ校文学科 教授



大学で文学とクリエイティブ・ライティングを教える傍ら詩人としても活躍。氏の作品は、多様な「旅」が存在しうる空間と言語の境界領域を探求し、アジアの豊かな伝統からインスピレーションを得ているものが多く、風景や地形、民族や文化、時間や記憶を通過していく旅人の足跡を描いている。これらの作品は学術的にも評価され、国際交流基金、住友財団、シンガポール国立大学などから奨学金を得ている。これまで出版した *A Feast of Origins* (2004年) はフィリピンのナショナル・ブック・アワードを含む2つの著名な賞を受賞したほか、*Geographies of Light* (2011年) は2007年度 Carlos Palanca Award for Poetry in English を受賞。近著の *Naming the Ruins* (2014年) はフィリピンの他、オーストラリア、シンガポールでも出版されている。

ハリー・スルヤディ (インドネシア)

インドネシア科学ジャーナリスト協会 会長



インドネシア大学社会政治科学部で修士号を取得。農業雑誌『Trubus』、日刊紙『Kompas』での勤務を経て、2000年にオンライン・ニュースサイト「Astaga.com」の立ち上げに携わる。2006年にはインドネシア環境ジャーナリスト協会を、2014年にはインドネシア科学ジャーナリスト協会をそれぞれ設立し、会長に就任。国際ジャーナリスト・センターのフェローとして、地方紙や地方のラジオ局で環境問題を扱うプログラムの立ち上げを支援したほか、情報へのアクセスが限られている農村部の人々のために、環境に関する情報を提供するモバイルニュースサービスを展開した。豪州クイーンズランド大学から社会変革のためのコミュニケーション賞 (The Communication for Social Change Award) を受賞。インドネシア各地でフリーランス記者、メディア・トレーナーとしても活躍する。

イン・シュシイ (中国)

合肥工業大学 教授



合肥 (ごうひ) 工業大学教授および同大学宗教間対話センター長を務める。北京大学で学士号、ハーバード大学で修士号、ドイツのエバーハルト・カール大学テュービンゲンで博士号を取得。急激な変化を遂げる中国で生まれ育ち、三大陸で研究と仕事に従事した経験から精神性の重要性を認識。欧米での数年間の生活を経て、宗教間対話の促進にはアジアの精神的遺産が重要であり、アジアの結束を促すにも精神性が大きな役割を担うと考えるに至る。合肥工業大学においては、中国ではこれまでになかった宗教と法の役割に関する夏期研修プログラムを組織し、同国における信教の自由の提唱者を多数輩出してきた。大きな視点からみた宗教と社会に関心があり、同分野で多数の著作がある。

※所属・肩書はプログラム参加当時のものです。

ALFP 2015 Schedule

- 9月7日 オリエンテーション／歓迎レセプション
- 9月8日 イントロ・セッション
カントリーレポート1：アルラナンサム・サルベスワラン、ディナ・ロマ
- 9月9日 カントリーレポート2：ハリー・スルヤディ、サラナラット・カンジャンヴァニット
カントリーレポート3：カレン・ライ・ユ・リー、ジャイディーブ・ハルディカール
- 9月10日 カントリーレポート4：イン・シュシイ、野村舞衣
石内都（写真家）& 若松英輔（批評家）セミナー「アートが紡ぐ、戦争と人間の記憶」
- 9月11日 堀内正弘（多摩美術大学教授）セミナー「コモンズと SHARE HUB のコンセプト」、
シェア奥沢訪問
- 9月13～14日 リトリート会議 in 箱根
- 9月15日 田辺明生（京都大学教授）南アジア・コアセミナー「グローバル化する南アジアにおける構造変容：持続可能、包括的、平和的な開発」
藍染作家 Tatz Miki 氏の工房（代官山）見学
- 9月16日 鈴木佑司（日本ユネスコ協会連盟副理事長）東南アジア・コアセミナー「開発主義の終焉とテロ問題」
高原明生（東京大学教授）北東アジア・コアセミナー「中国政治と日中関係」
- 9月18日 ドキュメンタリー『The Animal Communicator』観賞およびフェローによるワークショップ（サラナラット・カンジャンヴァニット）
- 9月22～25日 徳島・岡山フィールド・トリップ
- 9月28日 内山貞文（ポートランド日本庭園ガーデンキュレーター）セミナー「日本庭園と美について」
- 9月29日 神武直彦（慶應義塾大学准教授）セミナー「イノベーションのための衛星技術」
- 10月1日 ドキュメンタリー『Nero's Guests』観賞およびフェローによるワークショップ（ジャイディーブ・ハルディカール）
- 10月2日 国際協力 NGO センター（JANIC）および CSO ネットワーク訪問、大橋正明氏（JANIC 理事長）並びに黒田かをり氏（CSO ネットワーク事務局長）による日本の NPO・NGO に関するブリーフィング
- 10月5日 上野千鶴子（東京大学名誉教授）セミナー「グローバリゼーションのもとでの新自由主義的改革におけるジェンダーの平等：日本の女性たちが失ったものと得たもの」
エリザベス安藤（日本料理教室「文化の味」主宰・食文化ジャーナリスト）セミナー「和食とは？」

10月6日 NHK 国際放送局訪問
10月8日 朝日新聞社訪問、論説委員と懇談
10月9日 鈴木達治郎（長崎大学核兵器廃絶研究センター長、教授）セミナー「フクシマ後の原子力政策」
10月10～18日 個人活動期間
10月17日 新渡戸国際塾塾生、マンスフィールドフェローおよび「国境なき科学」（ブラジル政府による留学生派遣事業）留学生とのディスカッション
10月19日 加藤博（一橋大学教授）セミナー「イスラムと今日の世界」
10月21日 ソニー株式会社 CSR 部訪問
10月22日 CSO ピースシード（千葉県成田市）訪問
10月28日 公開セミナー
10月30日 評価セッション

2015 Program Overview

ディスカッション・ペーパー発表会議

プログラムの始めには、フェローがそれぞれの関心テーマや出身国の状況について発表し、2015年度のALFPのテーマである「Seeking Our Commons in Asia: How Can We Create Visions for the Future?」に基づいて日本の有識者と議論を交わすセッションが箱根で開催されました。



コメンテーター：

- 足羽與志子（一橋大学大学院社会学研究科 教授）
- 小川玲子（九州大学比較社会文化研究院 准教授）
- 高原明生（東京大学大学院法学政治学研究科 教授）
- テヅカ ヨシハル（駒澤大学グローバル・メディア・スタディーズ学部 教授）
- 水野孝昭（神田外語大学 教授）

コアセミナー

プログラム2週目には、北東、東南、南アジアのいずれかの地域に焦点をあてた、3つのコアセミナーが行われ、それぞれの地域が抱える課題を中心に、今後のアジアについて大局的見地から議論を重ねました。

－ 9月15日 田辺明生（京都大学教授）

南アジア・コアセミナー「グローバル化する南アジアにおける構造変容：持続可能、包括的、平和的な開発」



－ 9月16日 鈴木佑司（日本ユネスコ協会連盟副理事長）

東南アジア・コアセミナー「開発主義の終焉とテロ問題」



－ 9月16日 高原明生（東京大学教授）

北東アジア・コアセミナー「中国政治と日中関係」



セミナー

セミナーでは、学界やNPO・NGOなどからお招きした知識人や専門家から以下のテーマでお話いただき、その後、フェローとの間で活発な議論が交わされました。

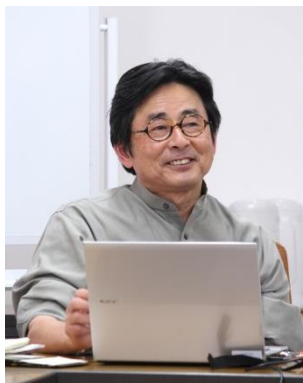
- 9月10日 石内都（写真家） & 若松英輔（批評家） / モデレーター：足羽與志子（一橋大学教授）
「アートが紡ぐ、戦争と人間の記憶」



- 9月11日 堀内正弘（多摩美術大学教授）
「コモンズと SHARE HUB のコンセプト」 およびシェア奥沢訪問



- 9月28日 内山貞文（ポートランド日本庭園ガーデンキュレーター）
「日本庭園と美について」



- 9月29日 神武直彦（慶應義塾大学准教授）
「イノベーションのための衛星技術」



- 10月5日 上野千鶴子（東京大学名誉教授）

「グローバリゼーションのもとでの新自由主義的改革におけるジェンダーの平等：日本の女性たちが失ったものと得たもの」



- 10月5日 エリザベス安藤（日本料理教室「文化の味」主宰・食文化ジャーナリスト）

「和食とは？」



- 10月9日 鈴木達治郎（長崎大学核兵器廃絶研究センター長、教授）

「フクシマ後の原子力政策」



- 10月17日 新渡戸国際塾塾生、マンスフィールドフェローおよび「国境なき科学」（ブラジル政府による留学生派遣事業）留学生とのディスカッション



- 10月9日 加藤博（一橋大学教授）
「イスラムと今日の世界」



その他の訪問およびセッション

- 9月15日 藍染作家 Tatz Miki 氏の工房（代官山）見学



- 10月2日 国際協力 NGO センター (JANIC) および CSO ネットワーク訪問

大橋正明氏 (JANIC 理事長 / 1999 年度 ALFP フェロー) 並びに黒田かをり氏 (CSO ネットワーク事務局長 / 2009 年度 ALFP フェロー) に、日本の NPO・NGO についてお話を伺いました。



- 10月6日 NHK 国際放送局訪問

社内とスタジオの見学をさせていただいた後、同放送局の方々にお話を伺いました。



- 10月8日 朝日新聞社訪問

論説委員の方々と意見交換を行いました。



- 10月21日 ソニー株式会社 CSR 部訪問



- 10月22日 CSO ピースシード（千葉県成田市）訪問



徳島・岡山フィールド・トリップ（9月22～25日）

フェローの共通の関心事などに基づいて企画したフィールド・トリップに出かけました。

徳島県神山町

- 9月22日 セミナー「創造的過疎化と地方活性化」
大南信也氏（NPO 法人グリーンバレー理事長）



- 9月22日 焼山寺にて住職によるセミナー「お遍路と焼山寺の由来」



- 9月23日 サテライトオフィス「えんがわオフィス」にてセミナー「新しい働き方」
隅田徹氏（株式会社神山神領代表取締役）



- 9月23日 アーティスト・イン・レジデンスに関するセミナー
森昌槻氏（NPO 法人グリーンバレー副理事長）



徳島県上勝町

- 9月24日 日比ヶ谷ゴミステーションにて、「ゼロウェイスト事業」に関するブリーフィング
脇田征幸氏（株式会社かみかついっきゅう取締役）



- 9月24日 セミナー「高齢者による葉っぱビジネス」
横石知二氏（株式会社いんどり代表取締役社長）



岡山県

- 9月25日 セミナー「日本におけるハンセン病の歴史」
藤田邦雄氏（国立療養所長島愛生園園長）



- 9月25日 セミナー「倉敷市児島産ジーンズの海外展開に向けた取り組み」
眞鍋寿男氏（株式会社ジャパンプルー代表取締役）



公開セミナー（10月28日）

約2カ月間にわたる日本での共同作業の集大成として、10月28日に国際文化会館にて公開セミナーを開催しました。セミナーではフェローたちが対話の成果を交えながら、それぞれの専門や国の現状について発表しました。第1部は竹中千春氏（立教大学教授）に、第2部は足羽與志子氏（一橋大学教授）に司会をしていただき、会場からもたくさんの貴重なコメントやご質問をいただきました。



各フェローの発表演題は下記の通りです：

<第1部>

- アルラナンサム・サルベスワラン（スリランカ）
「Role of Japan in Peacebuilding in Asia」
- サラナラット・カンジャンヴァニット（タイ）
「Connecting to Nature for Resilient Urban Society」
- イン・シュシイ（中国）
「Spiritual Linkage in Asia」

- カレン・ライ・ユ・リー (マレーシア)
「Seeking Our Commons in Asia: How Can We Create Visions for the Future?」

<第2部>

- デイナ・ロマ (フィリピン)
「Narrating Our Cultural Commons」
- 野村舞衣 (日本)
「Seeking Our Commons in Asia: How Can We Create Visions for the Future?」
- ハリー・スルヤディ (インドネシア)
「Japan and Indonesia—Connecting the Communities」
- ジャイディーブ・ハルディカール (インド)
「Big Problems, Small Ideas: Discovering the Many Working Worlds Within」